

令和2年度 杉並区立小中一貫教育校杉並和泉学園 学園経営方針

- I 令和2年度学園経営の最上位目標…**学園教育目標「3つのC」を体現する児童・生徒の実現**
- II 令和2年度の重点とする目標…
- 1 Communicateの実現 -小中一貫教育のよさを生かし、豊かにかかわる児童・生徒を育てる-
 - 2 児童・生徒の安全・安心の実現 -学校事故及び新型コロナウイルスの感染防止に力を尽くす-
 - 3 教職員の働き方改革の実現 -教師としての使命感を高め、より良い授業づくりを目指す-

教育目標「学園の3つのC」



豊かにかかわる

【CSアクションプラン】

- (1) 多様性を認め合う心の育成に重点を置いた国際交流活動等の推進
- (2) 小・中学部の交流活動の斬新
- (3) 情報を的確に理解し、自分なりの考えを伝え合う「対話的な学習」の推進
- (4) 人間関係を築く力の育成に重点を置いた教育活動の充実

【経営方針】

- (1) 人権教育や、海外の小中学校、大学への留学生、特別支援学級等との交流活動を充実させ、**多様性を認め合う心を養います。**
- (2) ペア学年での活動や児童・生徒が**互いの得意を伸ばす小中交流等を進めます。**
- (3) 学校司書等を活用した読書活動、調べ学習や毎日における対話的・協働的な学習等を一層充実させ、**学習の基盤となる読解力を高めます。**
- (4) 全ての教育活動において、人間関係を築く力を高めます。また、人と人との心を繋ぐために**「自分から先に挨拶のできる」児童・生徒を育てます。**
- (5) いじめへの教員の組織対応力を高め、**いじめを許さない学園を実現します。**



新たに創造する

【CSアクションプラン】

- (1) ICTを活用して進める「問い直す（深い学び）」授業の実施
- (2) 9年間の学びの連続性等を意識した学校行事・交流活動等の充実
- (3) オリンピック・パラリンピック教育の推進

【経営方針】

- (1) 1日の授業において積極的にICT機器等を活用した**「※問い直す授業」を実施し、思考力・表現力・判断力等を高めます。**
- (2) **小中交流等の取組や体育的・文化的行事等を児童・生徒が主体的に進めるものに改善し、児童・生徒の主体性や創造力を高めます。**
- (3) 児童・生徒一人一人が新たな伝統を創造していこうとする意欲等をはぐくむために、**児童・生徒の代表が「5周年記念行事」を企画・運営します。**
- (4) 学園の「9年カリキュラム」を改訂します。
- (5) 延期となった2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会を再度、盛り上げていくことを目的とした教育活動等を創意工夫します。



ひたむきに挑戦する

【CSアクションプラン】

- (1) 英語を積極的に使おうとする態度の育成を重点とかる英語学習の充実
- (2) 学力の向上等を目指した、小学部での一部教科担任制の充実、思考力・読解力等の育成を意識した考査方法・内容等への改善
- (3) 情報リテラシーの向上を目指した、全ての学習場面でのICTの活用

【経営方針】

- (1) 小・中学部において英語活動、英語科の授業時数を増やします。また、小中一貫教育校の機能を生かした**特色ある英語教育を進めます。**
- (2) 「児童・生徒の知的好奇心を喚起する授業」「算数・数学・英語での少人数学習」「高学年での定期考査や教科担任制の実施」「家庭との児童・生徒の共有化」等によるきめ細かな学習指導・学級経営等により、**確かな学力（特に主体的に学びに向かう力）を育てます。**
- (3) 小学部の6学年までにタブレットPCを自在に活用できる力や情報モラル等を育てます。



組織経営・働き方改革

【組織経営】

- 地域運営型学校（CS校）として、学校支援本部、学校運営協議会、地域教育推進協議会と協働した経営及び教育活動等を進めます。
- 全教職員が使命感をもち3つのCの育成を目指した教育・経営を推進します。
- **新型コロナウイルス感染防止にかかわる対応を教職員一丸となって進めます。**
- **主幹教諭を中心とした主体的・協働的な組織運営を進めます。（経営会議の設置）**
- 済美教育センターの協力を得て、若手教諭等のOJTを計画的に進めます。
- 児童・生徒の安全指導・安全管理を徹底します。
- **小中学部への乗り入れ指導、相互の授業参観等を1人月1度は行います。**
- 服務事故についての注意喚起を毎週火曜日職員朝会で行います。

【働き方改革】

- **月の時間外勤務を45時間に抑える。学園ルールの改訂を図ります。**
- 職員会議及び各分掌の会議を前年度比60%に削減します。
- 運動会、学芸音楽会等の主要行事のプログラム等の精選を図ります。
- 外部人材活用やPCによる考査の実施・採点による業務の効率化を図ります。